

レンタサイクルを基軸としたしまなみ海道活性化事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

「しまなみ海道」は、2019年はレンタサイクル貸出15万台、利用者全体34万人（マイ自転車利用者含む）であり、周辺地域の観光振興において大きな役割を担っている。

しまなみジャパンでは、レンタサイクルの受付業務が紙媒体での対応となっており、顧客情報・行動履歴等のデータが把握できていない。地域においては、事業者間の連携が進んでおらず、相互送客等が出来ていないほか、複雑な予約・決済システムを有しているため、旅行者の利便性が低く、周遊促進・消費拡大が図れていない。

本事業では、レンタサイクル利用者に対しスマートフォンアプリを通じて、情報発信・予約システムのDX化の推進やデジタル決済の導入により、旅行者の利便性を向上させるとともに、リピーターの再訪を促すことで、観光消費の拡大に繋げる。

本事業を通じて、「サイクルツーリズムを中心に位置付け、継続的な観光需要を創出し、持続的な地域活性化の達成」を目指す。

事業概要

しまなみ海道のレンタサイクルを活用した旅行において、①旅行者の利便性向上・周遊促進、②観光地経営の高度化、③観光産業の生産性向上のテーマに取り組み、持続可能性の高い観光振興モデルを実現する。

目標

旅マエから旅ナカでの情報収集や予約における旅行者側の利便性を高めると同時に、旅アトの満足度・推奨度向上につなげる仕組みを作り出すことで、域内周遊やリピーターの来訪を促し、観光消費を拡大させ、地域の活性化に貢献する。

取組エリア：広島県尾道市、愛媛県今治市、上島町 コンソーシアム名：しまなみ海道DXコンソーシアム（代表事業者：しまなみジャパン）

実証内容

スマホアプリを用いて、その時・その場所・その人に応じたレコメンドによる行動変容の誘起

観光地経営の高度化に向けたデータ連携基盤の構築

予約・在庫システム、キャッシュレス端末の導入による業務改善

目標値

KGI 訪問地点延べ数：45,000地点

KPI アプリDL数：10,000DL

